

講習内容

1. 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

① 院内感染対策のシステム化・連携（講習時間：45分）

院内感染対策の進め方、マニュアルの作成、医療従事者の研修体制の構築、ICTの組織化と役割、情報提供の方法、地域の連携と感染対策のシステム化、サーベイランスの実施

② 院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）と微生物検査（講習時間：45分）

各種関連微生物（細菌、真菌、ウイルス）の概要、耐性菌（MRSA、PRSP、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）、検体採取上の注意、細菌検査結果の読み方、臨床への情報提供の在り方、院内環境微生物検査等

③ 医療機関における感染制御の基本（講習時間：45分）

標準予防策、感染経路別予防策、隔離予防、易感染・免疫低下患者への対応、アウトブレイク時の対応等

④ 院内ラウンドの実際とそのポイント（講習時間：45分）

院内ICTラウンドの方法、チェックリストの作成と活用、リスクアセスメントとラウンドへの活用、コンプライアンスチェックの実際

⑤ 抗菌薬および消毒薬の使用と管理（講習時間：45分）

抗菌薬の選択・薬物投与計画（PK/PD等）、施設内アンチバイオグラムの作成、抗菌薬使用適正管理（耐性菌制御の観点を含む）、消毒薬適正使用と管理の在り方

⑥ 医療器材関連感染（講習時間：45分）

血管内留置カテーテル感染防止、尿路カテーテル感染防止、気管内挿管チューブの管理、吸引チューブの管理、ドレーンなどの管理

⑦ 呼吸器感染対策（講習時間：45分）

結核感染対策、人工呼吸器関連肺炎予防、麻疹・水痘・風疹・ムンプス対策、インフルエンザへの対応等

⑧ 周術期感染対策（講習時間：45分）

手術部位感染（SSI）防止、術野消毒法、手術時手指消毒、環境整備、手術室空調、患者の術前・術後管理、創部管理等

⑨ 血液媒介感染対策および職業感染対策（講習時間：45分）

B型肝炎、C型肝炎、HIV感染症等の予防体制、針刺し事例への対応、ワクチンプログラム、職員健康管理等

⑩ 院内感染対策に関連する環境整備（講習時間：45分）

環境の日常的衛生管理、病室環境の清浄化、寝具・リネンの取扱い、環境整備（汚物処理室、トイレなどの整備）、病室環境消毒、空調・換気の管理、アスペルギルス・レジオネラ対策等

⑪ アウトブレイク対応の実際（講習時間：45分）

早期検知・サーベイランスの実際、感染拡大防止対応、薬剤耐性菌（MRSA、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）感染対策、ノロウイルス感染対策、*C. difficile* 感染対策、インフルエンザ感染対策など

⑫ 地域における感染対策のネットワーク構築（講習時間：45分）

情報共有化の実際（講習会の共同実施等）、感染対策の協力・連携（共通ガイドライン・ポスターなどの作成、共同サーベイランスの実施）感染対策の支援（コンサルテーション、アウトブレイク対応時等の支援）、地域における人材育成システム構築、行政との連携

⑬ 院内・施設内感染関連法令（講習時間：40分）

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

⑭ パネルディスカッション（講習時間：80分）

2. 1の受講対象となる医療機関と連携し、地域における各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

① 院内感染対策のシステム化・連携（講習時間：45分）

院内感染対策の進め方、マニュアルの作成、医療従事者の研修体制の構築、ICTの組織化と役割、情報提供の方法、地域の連携と感染対策のシステム化、サーベイランスの実施

② 院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）と微生物検査（講習時間：45分）

各種関連微生物（細菌、真菌、ウイルス）の概要、耐性菌（MRSA、PRSP、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）、検体採取上の注意、細菌検査結果の読み方、臨床への情報提供の在り方、院内環境微生物検査等

③ 医療機関における感染制御（講習時間：45分）

標準予防策、感染経路別予防策、隔離予防、アウトブレイク時の対応等

- ④ 高齢者介護施設における感染制御（講習時間：45分）
高齢者介護施設での感染対策、日常的衛生管理、高齢者の健康管理、感染症発生時の対応、施設の感染管理体制等
- ⑤ 洗浄・消毒・滅菌の基本と実際（講習時間：45分）
洗浄・消毒・滅菌の定義、洗浄の基本、消毒法の種類と特徴、各種消毒薬の種類と使用法、生体消毒・医療器具消毒の特徴、滅菌法の種類と特徴、滅菌物の取扱い等
- ⑥ 抗菌薬の適正使用（薬剤の選択と投与計画）（講習時間：45分）
治療薬の基本的使用法、抗菌薬の選択、薬物投与計画（PK/PD等）、血中濃度モニタリングの適応の実際（TDM）、抗菌薬使用適正管理等
- ⑦ 医療器材関連感染（講習時間：45分）
血管内留置カテーテル感染防止、尿路カテーテル感染防止、気管内挿管チューブの管理、吸引チューブの管理、ドレーンなどの管理
- ⑧ 呼吸器感染対策（講習時間：45分）
結核感染対策、人工呼吸器関連肺炎予防、麻疹・水痘・風疹・ムンプス対策、インフルエンザへの対応等
- ⑨ 血液媒介感染対策および職業感染対策（講習時間：45分）
B型肝炎、C型肝炎、HIV感染症等の予防体制、針刺し事例への対応、ワクチンプログラム、職員健康管理等
- ⑩ 周術期感染対策（講習時間：45分）
手術部位感染（SSI）防止、術野消毒法、手術時手指消毒、環境整備、手術室空調、患者の術前・術後管理、創部管理等
- ⑪ 院内感染対策に関連する環境整備（講習時間：45分）
環境の日常的衛生管理、病室環境の清浄化、寝具・リネンの取扱い、環境整備（汚物処理室、トイレなどの整備）、病室環境消毒、空調・換気の管理、アスペルギルス・レジオネラ対策等
- ⑫ アウトブレイク対応の実際と地域ネットワーク・地域連携（講習時間：45分）
早期検知・サーベイランスの実際、感染拡大防止対応、薬剤耐性菌（MRSA、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）感染対策、ノロウイルス感染対策、*C. difficile* 感染対策、インフルエンザ感染対策など

⑬ 院内・施設内感染関連法令（講習時間：４０分）

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

⑭ パネルディスカッション（講習時間：８０分）

３．高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

① 大規模施設における感染対策システムの構築（講習時間：４５分）

感染対策チーム（ＩＣＴ）の活動の実際、感染制御部・感染管理室の設置と運用、院内における情報の共有化、統合的感染制御策・ベストプラクティス（Bundle, High Impact Intervention等）の導入と活用、コンプライアンス向上への取り組み、職員健康管理・職員感染対策（ワクチンプログラム、針刺し事例への対応）

② 感染症サーベイランス・微生物モニタリングの実際（講習時間：４５分）

各種感染症サーベイランス（血流、ＳＳＩ、人工呼吸器、尿路等）の実施と活用・フィードバックの実際、微生物モニタリング（MRSA、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌などの各種耐性菌、*C. difficile*等）の実施と実際と活用・フィードバックの実際

③ 院内ラウンドの実際とそのポイント（講習時間：４５分）

院内ＩＣＴラウンドの方法、チェックリストの作成と活用、リスクアセスメントとラウンドへの活用、コンプライアンスチェックの実際

④ 抗菌薬および消毒薬の使用と管理（講習時間：４５分）

抗菌薬の選択・薬物投与計画（PK/PD等）、施設内および地域内アンチバイオグラムの作成、抗菌薬使用適正管理（耐性菌制御の観点を含む）、消毒薬適正使用と管理の在り方

⑤ 新興感染症への対応（インフルエンザ、MERS-コロナウイルス感染症対策を含め）

（講習時間：４５分）

新興感染症の検査・診断・治療、感染予防・感染対策、感染した可能性があるときの対応、地域医療体制等

⑥ 大規模流行を起こす感染症への対応（アウトブレイク対応）（講習時間：４５分）

薬剤耐性菌（MRSA、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）感染対策、ノロウイルス感染対策、*C. difficile*感染対策、レジオネラ感染対策、インフルエンザ感染対策

⑦ 感染対策に関連する環境整備（講習時間：４５分）

環境の日常的衛生管理、環境清掃の在り方、トリアージの観点からの環境整備、接触感染対

策の観点からの環境整備（汚物処理室、トイレなどの整備）、飛沫・空気感染対策と換気機能・陰圧機能整備のポイント、病室環境消毒バイオセーフティの観点からの検査室整備

⑧ 感染対策教育・研修システムの構築と人材育成（講習時間：45分）

医療従事者等に対する教育研修システムの構築、カリキュラムの策定と各種教育用ツールの活用、教育研修効果の評価システムの構築、地域における人材育成

⑨ リスクコミュニケーション・メディア対応（講習時間：45分）

感染症に関するリスクコミュニケーションの在り方、患者・患者家族への具体的対応事例、地域住民へのリスクコミュニケーションの実際、メディア対応の在り方、メディアへの情報提供・情報公開の在り方

⑩ 感染対策における情報入手と活用（講習時間：45分）

新興・再興感染症（インフルエンザ、ウイルス感染症、薬剤耐性菌感染症、腸管感染症、真菌感染症、バイオテロ等）に関する最新情報や感染対策の最新ガイドライン情報の入手と活用、情報ネットワークの構築

⑪ 地域における感染対策のネットワーク構築（講習時間：45分）

情報共有化の実際（講習会の共同実施等）、感染対策の協力・連携（情報伝達、チェックリストの作成とラウンドへの活用、コンプライアンスチェックの実際、共通ガイドライン・ポスターなどの作成、共同サーベイランスの実施）感染対策の支援（コンサルテーション、アウトブレイク対応時等の支援）、地域における人材育成システム構築、行政との連携

⑫ 院内・施設内感染関連法令（講習時間：40分）

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

⑬ 感染対策活動事例の紹介（講習時間：45分）

地域において指導的な役割をはたしている2施設の感染対策担当者による上記①－⑫の項目を含む施設における具体的な感染対策活動事例の紹介

⑭ パネルディスカッション（講習時間：80分）